

科目名	担当者名	配当	期	単位
租税法演習	柳 裕 治	3選	後期	2

■講義内容■

この科目は、「租税法Ⅰ・Ⅱ」を受講し、租税法に関する基礎的な知識を修得している受講生を対象に設置する演習科目である。現実には生じている租税法上の問題は、複雑な経済取引が絡んだものが多く、解答のためには極めて幅広い法令、判例及び学説の知識が必要となる。本演習では、事例問題を素材として法令・判例・学説を総合して可能な解決策を探究することにより、租税法に関する問題解決力を身につけることを目的としている。

■シラバス■

<科目のねらい>

本演習では、「租税法Ⅰ・Ⅱ」で修得した租税法に関する基礎的・体系的な知識を修得している受講生が、租税法に関する問題解決力を身につけるために、重要租税判例を素材とした事例問題について、問答方式による双方向的な対話ないし討論型の授業を展開し、租税法の理論と実務を修得する。

本演習で取り上げる事例の内容は、所得課税を中心とする問題であるが、租税法基礎理論（租税法の解釈・適用）、租税実体法（納税義務者、課税物件、課税物件の帰属、課税標準等）、租税手続法、租税争訟法に関するものである。

<科目の内容>

- 第1回 民法上遡及効ある法律行為と課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第2回 夫婦間の契約と所得の帰属についての事例問題を検討し、討論する。
- 第3回 法人格否認と代表者への課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第4回 従業員持株制度と課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第5回 反対株主の株式買取請求と課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第6回 不動産サブリースと課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第7回 役員給与・役員退職金にかかる所得課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第8回 譲渡所得課税における「資産の譲渡」の意義についての事例問題を検討し、討論する。
- 第9回 所得課税における資産評価損についての事例問題を検討し、討論する。
- 第10回 未実現利得・帰属所得に対する所得課税についての事例問題を検討し、討論する。
- 第11回 債務保証の履行と譲渡所得の計算特例についての事例問題を検討し、討論する。
- 第12回 雑所得の分類基準と損益通算排除の意義についての事例問題を検討し、討論する。
- 第13回 心身の機能不全と所得控除についての事例問題を検討し、討論する。
- 第14回 青色申告の承認・取消をめぐる諸問題についての事例問題を検討し、討論する。
- 第15回 定期試験

<教科書>

岩崎政明著『ハイポセティカル・スタディ租税法』（弘文堂）

<参考書>

柳裕治ほか著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）

金子宏著『租税法』（弘文堂）

金子宏ほか編著『ケースブック租税法』（弘文堂）

『別冊ジュリスト租税判例百選』（有斐閣）